

記入年月日:令和 2年 3月 1日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	回答数	回答率	改善目標、工夫している点など
体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1		3	100%	
	職員の配置数は適切であるか	1	1	1	3	100%	・若い男性スタッフがほしい
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			3	100%	・手すりをつけたことで支援しやすくなった
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	2		3	100%	
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1		3	100%	
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1		2	67%	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	1	3	100%	
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2		1	3	100%	・外部研修に参加しスキルアップしたい
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を成しているか	2	1		3	100%	
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2		3	100%	
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	2		3	100%	・職員同士で相談しあうがまだ徹底されていないと感じ素
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			3	100%	
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1		3	100%	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	2		3	100%	・計画が作成できるように努力している
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			3	100%	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1		3	100%	・パート職員も含めて話す機会が欲しい ・当日ではなく、次の日のミーティングの際にしている
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1		3	100%	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			3	100%	
関係機関や保護者	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を行っているか	2	1		3	100%	
	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1		3	100%	
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	1		3	100%	
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	1	2	67%	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3		3	100%	
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1		3	100%	
	児童発達支援センターや発達障害者や支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			3	100%	
	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2		3	100%	
	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2		3	100%	
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			3	100%		

	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2		2	67%	
保護者への説明責任等	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	1		2	67%	
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	1		2	67%	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	1	2	67%	
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			3	100%	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1		3	100%	
	個人情報に十分注意しているか	3			3	100%	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			3	100%	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	2	3	100%	
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者が周知しているか	2	1		3	100%	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1		3	100%	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか	2		1	3	100%	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を	2	1		3	100%	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		2	1	3	100%	・親の申告のみで指示書はもらっていない
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			3	100%	

(様式5)

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

記入年月日:令和 年 月 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		
	2	職員の配置数は適切であるか	3		・若い男性スタッフがほしい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		・手すりをつけたことで支援しやすくなった
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		会社方針目標・事業所方針目標・個人方針目標を設定し、毎月モニタリングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		意見把握は行っている改善への度合いは低い
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		・外部研修にも参加しスキルアップしたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		・職員同士で相談しあうがまだ徹底されていないと感じ素
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	・パート職員も含めて話す機会が欲しい ・当日ではなく、次の日のミーティングの際にしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	1	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			医療的ケアを必要とする受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	
4	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		
	35	個人情報に十分注意しているか	3		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	定期的に療育に詳しい知見者を招へいし、講演会や相談会等を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2		現在の利用児童にアレルギーを持っている児童はいないが今後の受け入れでアレルギー持ちの児童がいる場合医師の指示書に基づく対応をする。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			

事業所における自己評価結果(公表)

公表年月日:令和 2 年 3 月 31 日

事業所名POCCOくしがた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		充分広いとは言えませんが、活動内容に合わせて工夫して環境設定を行っている。	近隣の公園を天気の良い日には利用していく。
	2	職員の配置数は適切である	3		配置基準はしっかり配置している。戸外活動などにおいてはなるべく多く配置出来るよう努力している。	男性職員を配置し、年齢の高い男性利用者によりきめ細やかな支援が出来るようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		・手すりを設けた。・床をクッション性の高い素材のものに張り替えて、安全性の向上性を図った。	完全バリアフリーではないが、つき続き死角が少ないので常に職員が見守る中で活動を行っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		全員が方針・目標を掲げ、年間スケジュール化し、毎月モニタリングしている。	職員面談を全社員と行いよりしっかりと振り返り、改善点を確認していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		自己評価の結果を全職員で共有し、改善点などを話し合い、安心して過ごせる空間の提供に努めている。	保護者様のアンケート回収率が29%と非常に低く、今後工夫が必要であり、次年度はアンケートを直接お届けし、記入をお願いをする方法をとることとする。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		HPでの公表している。	事業所の玄関席にいつでも手に取れるよう掲示していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	第三者委員の設置・巡回は行っている。	今後第三者評価を実施していきたいと考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		学校長期休み以外の毎月、午前中3時間を費やし、職員研修を行っている。	これまでは療育に関して、又は支援の方法等の研修が多かったが、今後脳機能の向上など科学的な面での研修も行っていきたいと考えている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		SM社会生活能力をアセスメントの基軸に据え、全保護者の協力を得ながら、個別支援計画をより実際の側面から作成し、効果的なモニタリングに結びつけている。	適切なアセスメントから効果的な支援計画を策定しているが、課題の抽出を支援活動へ盛り込んでいることを、活動予定などを通じて毎月保護者に伝えていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		法人内で共有しているアセスメントシート・モニタリングシートを活用した上で保護者面談を行い、目標や課題を保護者と共有している。	全員の職員の視点を取り入れより良い支援が出来るよう、担当者会議をしっかりと行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		活動目標を決め、それに沿って職員間で話し合いながら活動プログラムを決めている。	行った活動をしっかりと振り返り、次の支援につなげる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		児童の成長や季節、状況などを考慮し活動プログラムを決めている。	法人内の他事業所と連携しより良い活動プログラムを取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		その日の状況に応じた個々の児童への関わり方を職員間で共有し支援にあたっている。	毎月活動プログラムを職員全員で計画しているが、もう少し領域ごとの活動効果を保護者にもわかりやすく伝え支援していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		個々の児童に特性を十分に理解し、個別と集団の必要性を考慮したうえで作成している。	個別に必要な活動内容を、SM社会生活能力結果から読み取り支援内容に盛り込み丁寧に対応していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		活動内容を朝のミーティング時に行い役割を決めている。	毎月作成している活動内容を職員は各領域ごとに十分に理解して支援につなげる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	その日の児童の様子を記入するケア記録を活用し、支援の振り返りに役立て気付いた点を共有している。すり替えミーティングは、翌日に行っている。	業務システムの利用時のケア記録をしっかりと確認していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1	その日の担当者がケア記録をとり、支援の効果や関わり方や課題を記入している。	記録の取り方について正しい記録が取れるよう指導する。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		最低6か月に1度のモニタリングを行っている。	モニタリングシートを事業所、保護者共に記入していただき活用しているので引き続き行う。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	1	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援の基本活動意識して行っています。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	児童発達管理責任者・担当指導員などが必ず参加している。	相談支援員さんの中には、学校や関係各所との連携会議を全く行わない相談支援所があるため、こちらから提案して開催していきたい。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		学校や担任によって差が大きいです。必要な情報の取得や提供に努め、調整しています。	送迎時間の変更や送迎が遅れた場合には連絡を取り合い事前の調整や急な変更にたいおうしているが落ち着いて運転し、事後連絡も取り合い連携していくよう努める。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			対象者はいない。	受け入れ態勢がない。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3	必要に応じて就学前の情報を取得し、個別支援計画作成に役立てている。	就学前に何度か利用者に体験や訪問に来ていただいたり、入学前の利用できる日に少しずつ利用を開始していただくよう保護者と調整していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	これまで例はありませんが、最後のモニタリングを行っている。	保護者様の同意のもと、積極的に情報提供を行いスムーズに事業所を移行できるように配慮します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		専門機関センターの研修の数は少なく情報もあまりない。	顧問心理士による社員研修を定期的に行っているため積極的に参加し、支援力の強化に努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	児童館での利用人数が多すぎて、見守りに危険があるためあまり交流がない。	通常の学校に通っている児童は毎日交流をしているが、支援学校の児童は積極的に交流していけるように計画を立てる。連携する保育園とも交流を持っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3	自立支援協議会への参加回数が少ない。	積極的に参加して行くようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	3		送迎時や連絡帳で状況や課題を伝えている。	連絡帳のサイズを大きくし、写真を貼りより利用時の様子や活動が見えるようにしていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	顧問心理士の研修を受講しているため、それにそった助言等を行っている。	顧問心理士の研修や相談会に同席し、より保護者様支援や相談に対応できるスキル向上に努める。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		契約時に説明している。	いつでも手に取り閲覧できるよう玄関に掲示し、質問には随時丁寧に説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1	悩みや相談事があった場合は、寄り添いながら助言を行っている。	ひとりの指導者では解決できなかったり、対応できない内容の場合は職員全員の意見や本部とれんれいするなどしっかり対応していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	親子交流ということで、ホテル観賞会などを行っている。	親子で参加できる行事を増やし、保護者同士の交流の機会を増やせるよう計画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		苦情受付ボックスを用意している。苦情受付・苦情解決者・第三者委員の連絡先も掲示し公開している。苦情対応マニュアルにそって対応し、記録も残している。	マニュアルを整備して対応に備えており、迅速に事の経緯を説明し、保護者様の不安や不満の解消に努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		定期的にPOCCO通信を発行し活動の様子などお知らせしている。	POCCO通信を以外にも活動内容を詳しく記載した予定表をより充実させていく。年間行事予定も作成していく。
	35	個人情報に十分注意している	3		口頭でも個人情報はしっかり守るようにしている。	書類関係は鍵のかかる書庫に保管している。PCの事業所外持ち出しを禁止していることを徹底確認する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		個々の家庭の状況に合わせた伝達情報をとって対応している。	連絡帳に活動の様子の写真をはり、共有して行く。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	事業所見学会の開催を行い、運営内容や活動内容、活動における支援効果などお伝えした。	事業所見学会や地域の方も参加していただける活動を計画していく。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		策定したマニュアルの準備はあるが保護者様に周知されていない。	各種マニュアルを玄関に掲示したり、契約時・モニタリング時に説明をしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		消防署の指導のもと、避難訓練を実施した。	防犯訓練なども行い、行った時には保護者様に情報を共有していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		法人主催研修には全員参加した。県主催研修には担当者が参加した。	毎日のミーティング時にも虐待についての意識の向上に努めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		身体拘束規定に沿って確認している。危険が伴うような場合など止むおえない場合には、身体拘束記録を行い保護者様に説明をする。	命にかかわるような緊急事態には身体拘束規定に沿って身体拘束を行いしっかり記録をとり、保護者様に詳しく丁寧に説明し同意を頂く。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	2		アレルギー同意書は頂いている。	医師の指示書が必要な食物アレルギーの利用者さんはいないが、これから契約していく方の中で対象者がいた場合は、アレルギー検査結果を基に医師の指示書に従いしっかりと対応する。その場合全職員にしっかりと情報を共有していく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		全職員が行っているが、まだまだ事例が少ない。	全社員がもっと積極的に取り組み事例検証を行い連携事業所と共有して行く。	